



公開講演会

西表島を彩る植物たち —3年間にわたる植物相研究の成果報告—

1. 「西表島のどこにどんな植物が分布するのか？」 内貴章世（琉球大）
2. 「3年間の調査から見てきた西表島の植物の多様性」 設楽拓人（琉球大）
3. 「西表島の植物はいつ咲いていつ実をつけるのか？」 遠山弘法（国立環境研）
4. 「西表島に生きる希少な植物たち」 阿部篤志（沖縄美ら島財団）

東洋のガラパゴスとも呼ばれる西表島の多彩で貴重な生態系は、島の約9割を覆う自然林によって保たれています。しかし、「島のどこで、どんな植物が、どのように生育しているか」は、よく分かっていませんでした。そこで、琉球大学と沖縄美ら島財団は協力して、西表島の全域で、植物を対象とした現地調査と研究を続けてきました。この公開講演会では、植物の分布、多様性、生活史、希少性に着目した研究の、3年間の成果を紹介します。西表島を彩る植物たちの今の姿を、どうぞご覧下さい。

日時：令和2年2月27日（木） 18:00～

会場：中野わいわいホール



入場無料・事前申し込み不要 お問い合わせは下記まで。

琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設
Tel 0980-85-6560 <http://nesseiken.info>

主催



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

共催



一般財団法人
沖縄美ら島財団
Okinawa Churashima Foundation